

登山道歩きやすく

御所山 尾花沢の有志整備



御所山の登山道を整備するメンバーたち
＝尾花沢市

感謝の気持ち忘れず
登山が好きで、いくつかの山を歩いてきたが、思えばどこも道はしっかりと整備されていた。しかし今回「当たり前にある登山道」を守る人がいることにあらためて気付き、これまで迷うことなく山頂に到着できていたことに感謝した。御所山は未踏破。紅葉が見ころのころ、姿も道もきれいになった古里の山に出掛けよう。もちろん感謝の気持ちを忘れずに。(長瀬亮)

本紙記事で
荒廃を知り

3日かけ下草など除去

尾花沢市の山岳愛好者らが、本県と宮城県にまたがる御所山登山道の整備に取り組んだ。荒廃が予想以上に進み苦労したというが、3日間かけて樹木や下草などを除去し、登山者が安心して歩くことができるように道を確保した。

標高1500級の御所山は、県立自然公園に指定されており、毎年多くの登山者が足を運ぶ。しかし登山道はしばらく手付かずの状態で、荒廃していた。本紙は今夏、主

峰の御所山を中心とした本県から尾花沢を登山口とする▽層

は道に迷うような状態で、名所も荒れており、定期的な整備が必要だと実感した。今後

林組合、尾花沢猟友会などの有志5人。今月4、6日の3日間、山頂小屋に宿泊しながら、多くの人に愛されるように協力していきたくて話していた。

と宮城県境にまたがる船形連峰縦走の様子を記事で紹介。その中で荒れた様子を知り、整備が必要と知った尾花沢山の会の国分清貴さんが「地元

記者の目

の山を愛する者として残念で登山者に申し訳ない」と、市の委託を受け、仲間と呼び掛け活動した。

取り除いた。

参加したのは名木沢生産森林組合、尾花沢猟友会などの

国分さんは「初めて来た人は道に迷うような状態で、名

有志5人。今月4、6日の3

所も荒れており、定期的な整備

日間、山頂小屋に宿泊しながら、

も古里の大切な山を守り、多

ら尾花沢を登山口とする▽層

していきたくて話していた。